

チーム名	市川ゼミ北陸班	大学・学部	明治大学政治経済学部	北陸ステージ 本選出場
プラン名称	湯游感泳 – Healing Japanese Culture for Active Learning –			
リーダー名	飯尾俊介	対象地域	北陸三県（富山・石川・福井）※二県以上の二市町村以上を対象とすること。	石川県観光連盟賞 受賞 JTB賞 受賞
指導教職員名	市川宏雄	石川県加賀市、福井県あわら市		
メンバー名	加納剛之、中村つゆみ、狩野凱史、曾我部龍樹、塩紗奈美、篠原光			

企画概要

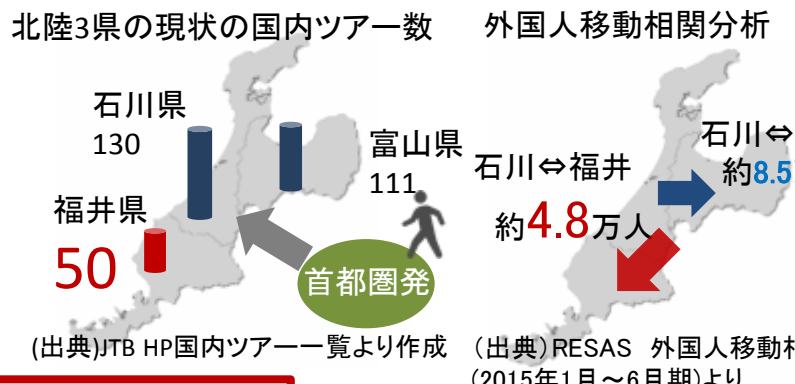
北陸新幹線開通から注目の集まる北陸。しかし、そこには無視できない観光格差があった。石川福井間の観光ルートの活性化、そのカギを握るのは台湾人と考えた。一見格式高い日本文化をなじみやすい形で台湾人にアプローチし人の流れに変える。石川県加賀市と福井県あわら市、温泉の陰に隠れたまだ見ぬ観光資源の発掘。両市の課題と台湾人誘致、これらすべてをクリアする観光プランを考えた。

現状分析

福井県を対象にした人の流れが少ない

地域選定

加賀市・あわら市を選定
両市の共通の強み弱みを分析



ターゲット選定

訪日台湾人

- ①小松空港の直行便(台北) →国内線の減少 →台湾人誘致で抑止
- ②台湾人の特質
 - ・自治体単位の交流
 - H26年7月・台南市・高雄市
 - H28年5月・高雄市鼓山区・桃園市

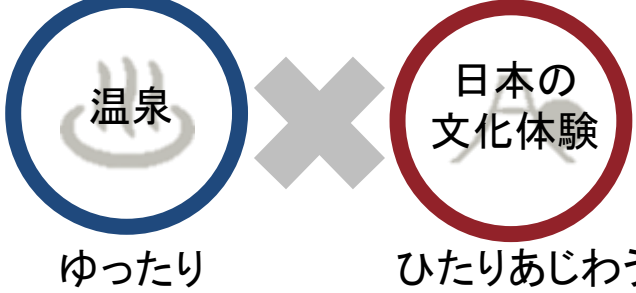


伝統体験	温泉	日本食
日本酒	自然景観	寺社仏閣

台湾貿易センターヒアリングより

ツアーコンセプト

湯游感泳【ゆうゆうかんえい】



解決策
元からある湯游の要素『温泉』に加え、日本文化の体験『感泳』を通して観光スポットを擁立する。

旅行の流れ	1日目 加賀	2日目 加賀	2日目 あわら
片山津温泉	感泳	感泳	感泳
山中温泉	伝統体験	伝統体験	伝統体験
山代温泉	夜の部	夜の部	夜の部
	湯游	湯游	湯游
	温泉・宿泊	温泉・宿泊	温泉・宿泊
		フォトラリー	

ツアー費用

宿泊費10000円 × 2 = 20000円
交通費10000円
食費・体験費用6000円 + 4000円
→ 一人当たり約4万円
(チャーター機代除く)

効果

新たな温泉街の楽しみかた
観光客

地元資源の有効活用
地域の方々

経済効果

加賀市・あわら市 訪日台湾人数約4万人(現状)
H26~H27の前年比約12%増加
⇒新規プランにより倍増(24%)と考える
増加推定 1年間に9,600人
9,600 × 40,000円
(滞在6日間で平均14万円を消費)
=約3.8億円

PR方法

Facebookを利用
台湾人対人口比利用率
アジア圏No.1

感泳プラン

☀️ 昼の部 🌙 夜の部

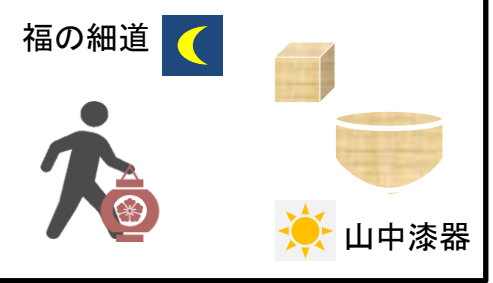
片山津



【恋船】片山津の柴山湯で行われている既存のナイトクルーズに縁結び要素を加え付加価値を。
【晶子染体験】晶子染で作成した風呂敷で台湾人のトレンドでもある日本酒のお土産を包み持ち帰る。

【福の細道】湯気街道以外の遊歩コースをパワースポットをまわる開運イベントという形で提案。
【山中漆器】3大漆器の1つである山中漆器では、木地挽き体験で無から有を作り上げる。

山中



山代



【やたがらす音頭】既存のイベントが行われていない時期に初見でも参加しやすい盆踊り要素を組み込んだイベントを提案。
【九谷焼】九谷焼の絵付け体験で、自分だけのオリジナル食器を。

あわら



【芦湯カフェ】町のシンボルである芦湯で、観光客が一息つけるカフェの併設を提案。
【かるたマッピング】日本の伝統文化であるかるたを四季に応じた歌で伝える。プロジェクションマッピングの話題性を集客につなげる。

これらの新規提案は 関係先各所に企画書を提出 → 実現可能性高